SAKAImed

取扱説明書

Sweet Pea

コンビネーションバス スイートピー

R／Lタイプ

SWP－100R/L

✱このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

✱「取扱説明書」は
・1部を現場用として、常に参照できる状態を保ってください。
・1部を保存用として、大切に保管してください。

01-146⑥LX

もくじ

安全上のご注意 ····· 3

各部の名称 ····· 8

各操作パネルの働き ····· 9

組合わせ ····· 11

ご使用になる前に ····· 12

電源 ····· 12

給湯水圧 ····· 12

入浴剤・薬液の使用 ····· 12

操作方法（各部） ····· 13

貯湯操作 ····· 13

湯量不足時の操作 ····· 14

タンク内高温及び低温時の操作 ····· 15

貯湯タンクの排水 ····· 15

入浴の設定操作 ····· 16

扉の開閉操作 ····· 20

底面シールの開閉 ····· 21

シャワードームの上げ下げ ····· 22

ネックマット、ネックシートの使用方法 ····· 23

入浴の開始・終了 ····· 25

洗身・入浴工程途中の停止・排水 ····· 26

バブラー ····· 26

ハンドシャワー ····· 27

ボディシャンプー ····· 28

非常時の操作 ····· 29

入浴手順 ····· 30

入浴終了後の操作 ····· 35

日常のお手入れ ····· 36

清掃 ····· 36

メンテナンス ····· 37

このようなときには ····· 38

機器の保守・点検について ····· 39

保証とアフターサービス ····· 40

仕 様 ····· 41

用 途

本製品は、介助を必要とする入浴者を車椅子に座らせた状態で、快適かつ容易に入浴させることのできる入浴装置です。

特 長

- **半身浴とシャワー浴を組み合わせた入浴方式**
  半身浴と上半身のきめ細かなシャワーで身体(心臓)への負担が少ない、ゆったりとリラックスした安全な入浴が可能です。
- **シャワーとバブラーで全身をやさしく洗浄**
  上半身はシャンプー入りシャワー、下半身は局所・臀部をバブラーによって肌に優しい洗浄を行います。
- **簡単操作の洗身・入浴設定**
  「おまかせ設定」とユーザー設定で、入浴者の要望に合わせた各設定を簡単に行うことができます。
- **洗身から入浴までを自動化**
  洗身後の汚れた湯を自動排水し、新湯による入浴を行い、介助者の作業負担を大幅に軽減しています。
- **操作性を高めています**
  スイッチ類のレイアウトを入浴介助が楽に行えるように工夫。
- **安心・安全の対面進入方式**
  介助者が入浴者を常に確認しながら、安全に浴槽内に進入できる対面方式を採用しています。
- **コンパクトな浴槽**
  狭い浴室でも十分に設置可能なコンパクト設計。浴槽への出入りに、広いスペースを必要としません。

本書に記載されている会社名および製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、
各注意事項をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

注意事項を次のように区分しています。

⚠危険 ・・・ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負うことに至るもの

⚠警告 ・・・ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの

⚠注意 ・・・ 取り扱いを誤ると、
傷害または物的損害の発生が想定されるもの

絵表示の意味

禁　止：してはいけない「禁止」内容のものです。

強　制：必ず実行していただく「指示」内容のものです。

電源・給湯水圧

⚠警告

サービスマン以外は、電源の接続を行わない

正しく接続しないと故障や事故の原因になります。

サービスマン以外は、給湯水の接続を行わない

正しく接続しないと水もれ等の故障や事故の原因になります。

適正圧力及び圧力比範囲となるよう管理

適正範囲を外れると、給湯やシャワーの湯温が急変することがあり、入浴者及び介助者がやけどをする恐れがあります。(P.12 参照)

⚠注意

使用電圧は AC100V ±5%の範囲内で使用する

範囲外の場合には機器の故障及び誤作動の原因となります。

入浴剤・薬液

⚠ 危険

次亜塩素酸ナトリウムは酸性の製品の近くに置いたり、一緒に用いない

人体に有害な塩素ガス等の発生の恐れがあります。万が一塩素ガスを吸込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

⚠ 注意

当社指定外の薬液を使用しない

イオウ系の薬液等は浴槽の金属部や電気部品、ゴム部品等を腐食させます。ご使用になり装置が故障した場合は、保証期間内の製品でも、保証対象となりませんのでご注意ください。

入浴中に薬液の投入は行わない

入浴者に健康被害を及ぼす恐れがあります。

推奨濃度より濃い濃度で殺菌しない

機器の破損につながる恐れがあります。

薬液を取り扱うときは、容器に書かれている使用上の注意をよく読む

- 各注意事項をお守りください。
- 周囲に薬液がこぼれた場合は水でよく洗い流してください。床やフレーム等の変色や錆の原因となります。

薬液を使用したときは、入浴作業終了後、きれいに洗い流す

残っていると、変色や錆の原因となります。

着色性及びイオウ成分の入った入浴剤は、使用しない

ご使用になると、よごれを落としにくくなったり、金属の腐食等を起こす恐れがあります。

入浴者の車椅子上への移乗と車椅子での移動

⚠ 警告

車椅子上へ移乗させるときは、キャスターを必ずロック

ロックしていないと、車椅子が移動し事故の原因になります。

車椅子に乗せたら、必ず手すりを握らせ、ひじを手すりの内側に入れ、安全ベルトを使用する

- 握っていないと上肢が車椅子の外側に出てけがをする恐れがあります。握れない入浴者の場合には、上肢を保持するベルトなどを用いるなどして、上肢が車椅子の外側に出ないようにしてください。
- ベルトをしなかったり、ベルトをゆるめ過ぎるなど固定が適切でないと、身体がずれて落下したり、ベルトの端面やバックルで擦れてけがをする恐れがあります。

入浴者をフットレストの上に立たせない

車椅子後部が浮き上がり非常に危険です。

車椅子を移動するときは、浴室の排水溝蓋の隙間等に注意

キャスターが隙間等に挟まると、車椅子が傾いたり、転倒する恐れがあります。

⚠ 注意

車椅子の移動は、ゆっくり

入浴者に不安感を与えないようにゆっくり行ってください。特に、強い力で車椅子を押し引きして手を離したりせず、必ず最後まで手を添えて移動を行ってください。

⚠ 警告

送湯中や入浴中の入浴者の状態に注意

水没等がないように、常に看視してください。

扉はシャワードームを上げた状態で閉めること。

シャワードームを下げた状態で扉を閉めると、扉がシャワードームに当たり、破損する恐れがあります。

扉を閉じるときは挟み込みに注意

入浴者の足先や手先が挟み込まれると、けがをする恐れがあります。

扉を開閉するときは周囲を確認し、入浴者の手足に注意

扉の動作範囲内に人や障害物があると、事故の原因となります。また、足先や手先が挟まれると、けがをする恐れがあります。

車椅子を進入させるときは、入浴者の足元に注意

- 入浴者の足がフットレストからおちていると浴槽進入時に浴槽に足をぶつけ、けがをする恐れがあります。
- 入浴者の足先がフットレストからおちていると底面シールに挟み込まれて、けがをする恐れがあります。

非常時は扉フックを解除する前に必ず浴槽内の湯を完全に排水する

浴槽内に湯があると水圧で扉が勢いよく開いたり、多量の湯が一度に放出され危険です。また、停電や装置の故障時以外は、危険ですので操作しないでください。

入浴用車椅子上での移乗・洗髪・洗身作業時の注意

狭い入浴用車椅子上での移乗・洗髪・洗身作業は入浴者の転倒や落下の恐れがあります。体位変換作業は、介助者の方向へ抱き寄せるようにして、入浴者の落下を介助者が体で防止しながら十分注意して作業を行い、洗身時はベルトを使用してください。

⚠ 注意

扉に無理な力をかけない

無理に開閉したり、開いた扉にぶらさがったりすると、破損する恐れがあります。

扉シールを開けるときは、浴槽内の湯が完全に排水されているか確認する

浴槽内の湯が排水しきらない状態(浴槽底面から 80 ㎜程度残っている状態)では、扉シールを開くと湯が流れ出て事故の原因となります。

シャワードームを上げる前に、ネックマットを前方に最後までスライドしロックすること

ネックマットをロックしないでシャワードームを跳ね上げると、ネックマットが滑り落ち危険です。

シャワードームを上げ下げするときは、入浴者の状態に注意してゆっくり操作する

- シャワードームが入浴者にあたり、けがをする恐れがあります。
- 入浴者の手が浴槽の縁にあった場合、シャワードームと浴槽の間に手を挟む恐れがあります。

シャワードームに無理な力をかけない

体重をかけたり、勢いよく上げ下げすると、破損する恐れがあります。

ボディシャンプーの一部には浴槽等を侵すものがあります

詳しくは最寄りの営業所にご相談ください。

⚠ 警告

送湯前にタンク内湯温表示で湯温を確認

入浴開始前には必ずタンク内の湯温をタンク内湯温表示で確認してください。確認しないで入浴スイッチを押すと、熱めの湯が止まらないで、シャワーの吐出及び、浴槽に送湯がされ、入浴者にやけどを負わせる恐れがあります。

ハンドシャワーを入浴者にかける前や使用中にも必ず手で湯温を確認

- 熱い湯が配管内に溜まっている場合がありますので、確認する前に安全な所に吐水して、最初の湯は捨ててください。
- 温度調節ノブを回した後、湯温が設定温度になるまでに数秒かかりますので注意してください。
- 温度調節ノブで温度調節した後でも、給湯・給水の水圧の急変により、シャワーの温度が急に変わることがありますので常に手で湯温を確認してください。

ハンドシャワーの温度調節ノブはゆっくり回す

急に回すと温度が急激に変化し、やけどをする恐れがあります。

ハンドシャワーをかけたままにして入浴者から離れない

介助者が離れている間に温度が急変し、やけどをする恐れがあります。

高温でハンドシャワーを使用した後は、必ず温度調節ノブを元に戻す

そのままにしますと、次に使用するときにやけどをする恐れがありますので、低温側に回して、しばらく湯を流してください。

⚠ 注意

流量調節ノブはゆっくり回す

ノブを閉の方に急に回すと、水圧が高くなり配管から水漏れを起こす原因になります。

使用後は流量調節ノブで湯を止めてから、シャワーホース内の加圧水をすてる

手元ボタンのみでシャワーの ON/OFF 操作を行っていると、シャワーヘッドの寿命が短くなります。またホース内に加圧された水を残こしたままにすると故障の原因になります。

⚠警告

操作部後側のメンテナンスカバーを勝手に開けない

操作部後側のカバーはメンテナンス用です。サービスマン以外は、カバーを取りはずして中の機械に触れないでください。

⚠注意

この製品は、一部に天然ゴムを使用しています

かゆみ、発赤、蕁麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、喘息様症状、血圧低下、ショックなどのアレルギー性症状をまれに起こすことがあります。このような症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し、医師に相談し、適切な措置を施してください。

操作スイッチにシャワー等で水をかけない

水がかかると電気系統の故障の原因になります。

入浴しないときは、扉シール及び底面シールを作動させない

車椅子を浴槽内に入れ長時間シールしたまま放置すると、シール性が低下して水漏れする恐れがあります。

使用後は、必ずタンク内の湯を排水する

水垢などがタンク内面にこびりつき、汚れが落ちにくくなります。

使用後は、必ず換気を行い室内の湿度を下げる

湿気による錆やかびなどの発生を抑えます。

電源を切る際は、必ず自動給湯ランプが消えていることを確認する

自動給湯が ON のまま電源を切ると、貯湯タンク内に水が給湯され続けます。また、自動給湯が停止するには時間がかかるので自動給湯 OFF 後、約 15 秒おいた後に電源を切ってください。

納入時のビニールカバーは、破棄する

製品にかけて使用すると、錆などが発生しやすくなるので、絶対に使用しないでください。

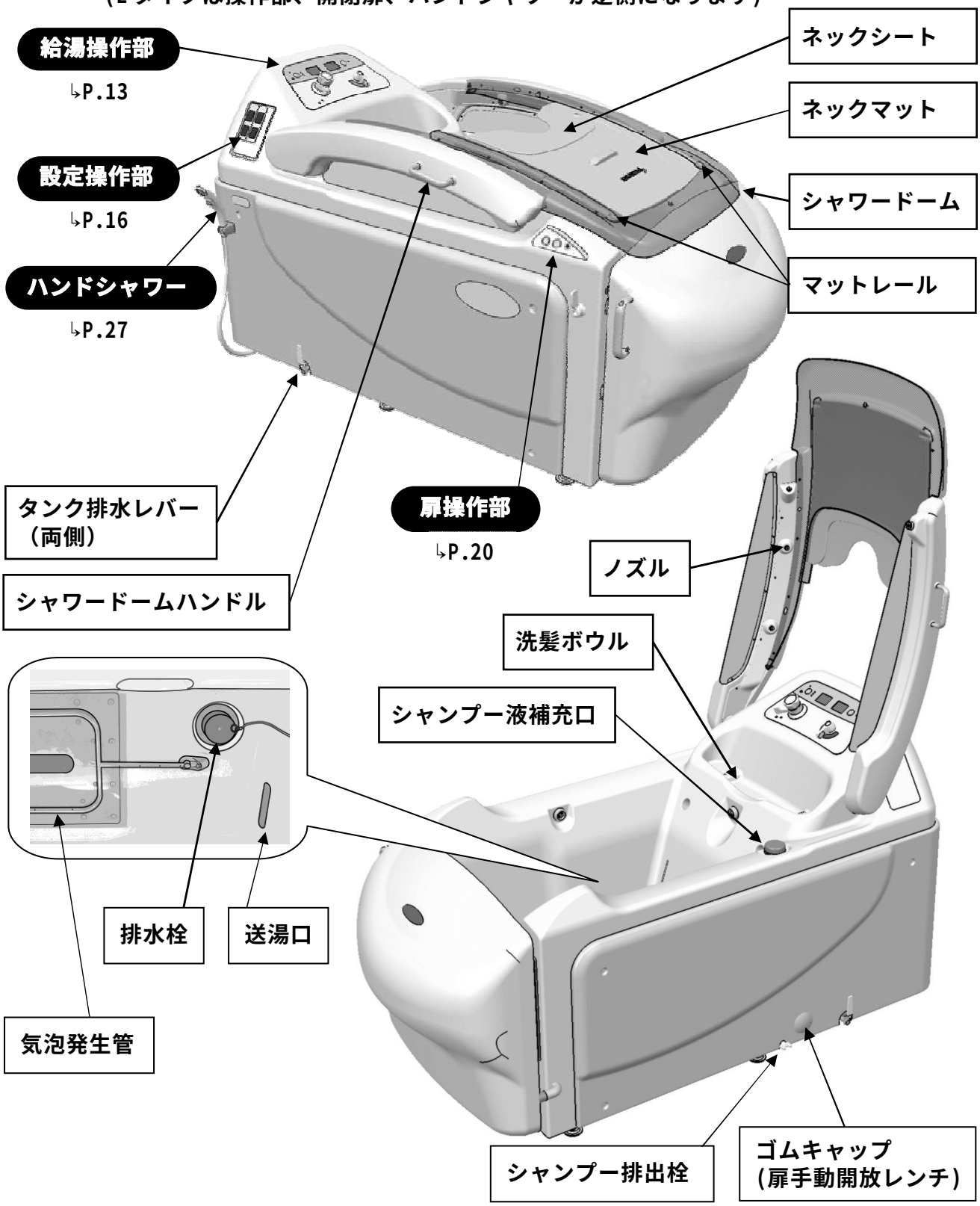
必ず付属のシリコングリスを使用する

他のグリスを使用すると、故障の原因になります。

各部の名称

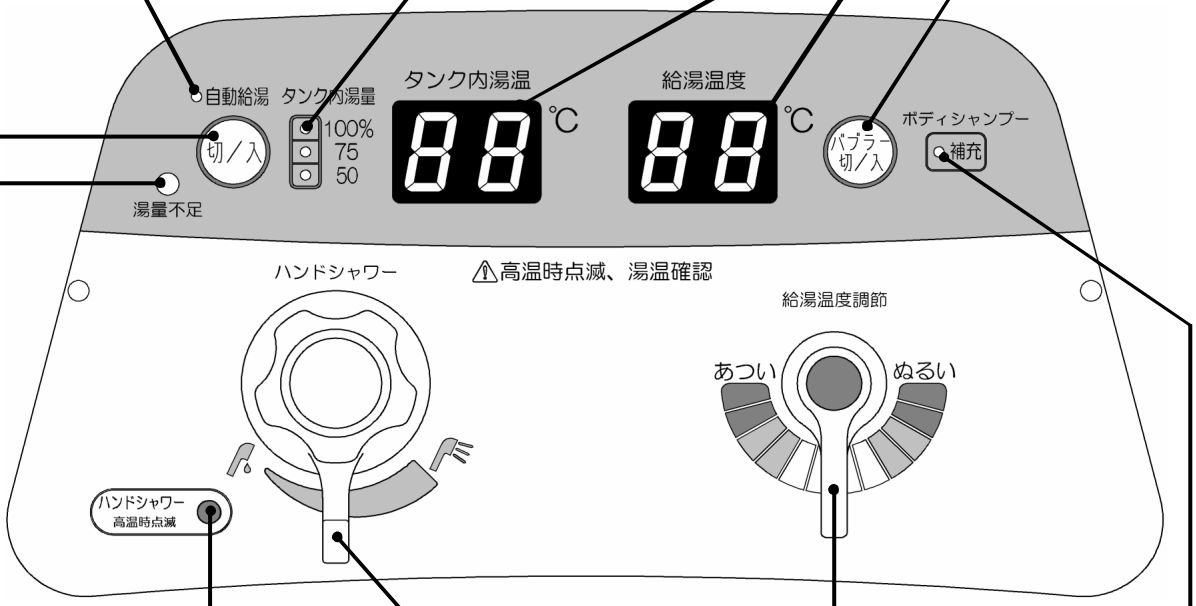
浴 槽：図はRタイプ

(Lタイプは操作部、開閉扉、ハンドシャワーが逆側になります)



各操作パネルの働き

● 給湯操作部



自動給湯スイッチ
押すごとに自動給湯の切/入ができます。
·P.13

タンク内湯温表示部
貯湯タンク内の温度を表示します。
高温時･･･点滅
低温時･･･c0 と交互表示
·P.15

給湯温度表示部
貯湯タンクへの給湯温度を表示します。
高温時･･･点滅
低温時･･･c0 と交互表示
·P.13

自動給湯ランプ
自動給湯作動中は点灯します。
·P.13

タンク内湯量ランプ
各ランプが点灯して貯湯タンク内の湯量を表示します。 ·P.13

バブラースイッチ
押すごとにバブラーの切/入ができます。
·P.26

ハンドシャワー 高温警告ランプ
ハンドシャワーの湯温が高温のとき点滅します。
·P.27

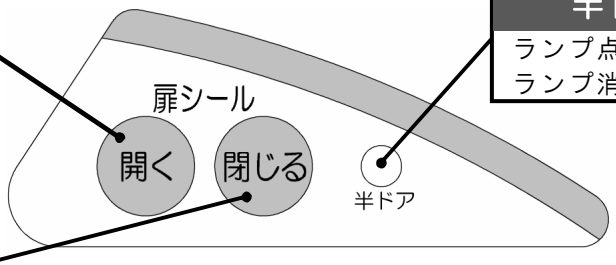
ハンドシャワー ミキシングバルブ
ハンドシャワーの湯温と流量を調節します。
·P.27

ボディシャンプー 補充ランプ
ボディシャンプーの残りが少なくなると点灯します。 ·P.28

湯量不足ランプ
ランプ点灯･･･電源投入時に貯湯タンク内の湯量が 100%未満。
ランプ点滅･･･貯湯タンク内が空。 ·P.14

給湯ミキシングバルブ
貯湯タンクへの給湯温度を設定します。
·P.13

● 扉シール操作部

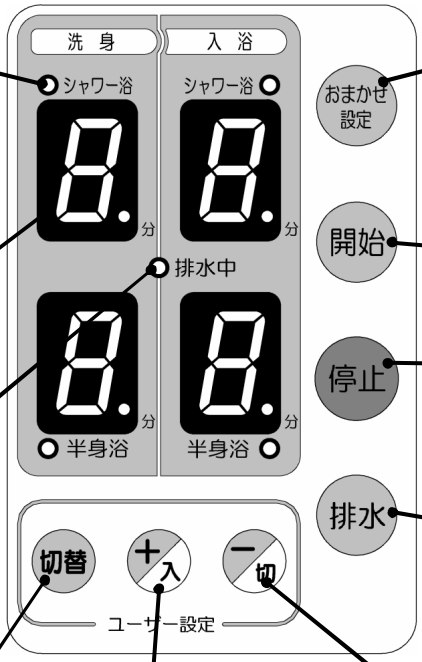


扉シール 開く
扉を開く前に押して扉シールを解除します。 ·P.20

扉シール 閉じる
扉を閉めた後に押して扉をシールします。 ·P.20

半ドアランプ
ランプ点灯···半ドア
ランプ消灯···シール完了

● 設定操作パネル



選択/動作ランプ
ランプ点滅···動作停止中
ランプ点灯···設定完了/動作中

時間表示部
洗身側表示···残りの時間を示します。
入浴側表示···経過時間を示します。

排水ランプ
ランプ点灯···排水中

切替
各動作の設定を切り替えるスイッチです。
押すごとに時間表示の点灯・点滅が移動します。
·P.17

おまかせ設定
あらかじめ製品にセットされている設定にするスイッチです。·P.16

開始
洗身、入浴を開始するスイッチです。 ·P.16

停止
洗身、入浴を停止するスイッチです。 ·P.16

排水
浴槽内の湯を排水させるスイッチです。·P.16

＋/入
・洗身時間を増やす。
・入浴動作を行う。

ー/切
・洗身時間を減らす。
・入浴動作をしない。

組合わせ

● 浴槽の種類

Rタイプ浴槽	SWP-100RP
Lタイプ浴槽	SWP-100LP

● 周辺装置(別売り)

入浴用車椅子　・・・・・SWP-100C

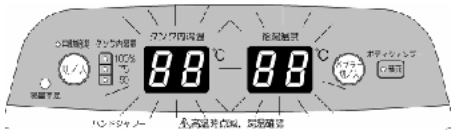
浴槽と入浴用車椅子を組み合わせて使用します。
操作方法については、各々の取扱説明書をご覧ください。

ご使用になる前に

ご使用前に本製品について P.39 **始業点検項目**にもとづき、始業点検を実施してください。またこれ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、電源を切って最寄りの営業所にご連絡ください。破損、異常を感じたままのご使用は、危険ですから絶対におやめください。

電源

使用前に必ず浴室の浴槽用電源のブレーカーを点検してください。浴室の浴槽用電源を入れ、浴槽操作部の表示ランプ類が表示されていることを確認してください。



給湯水圧

本機に供給される湯及び水の適正使用圧力は 150～200 kPa（約 1.5～2.0 kg/㎠）です。圧力比は変動を含んでも最大 ２：１ です。適正範囲内でご使用ください。

> ⚠ **警告　適正圧力及び圧力比範囲となるよう管理**
> 適正範囲を外れると、入浴者及び介助者がやけどをする恐れがあります。

入浴剤・薬液の使用

✹入浴剤について

入浴剤は、入浴剤の使用上の注意をよく読んで、浴槽（FRP）や配管等に悪影響を及ぼさない製品を使用してください。

✹薬液について

浴槽を殺菌する場合は、**次亜塩素酸ナトリウム（6%溶液）**を使用してください。他の薬液を使用したり、他の溶液と混ぜて使用したりしないでください。

（入浴終了後の浴槽の殺菌方法は P.37 参照）

> ⚠ **危険　次亜塩素酸ナトリウムは酸性の製品の近くに置いたり、一緒に用いない**
> 人体に有害な塩素ガス等の発生の恐れがあります。

●ご使用中に…

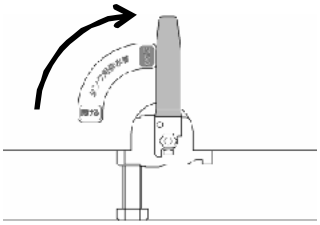
万一故障が発生したら、ただちに入浴者を安全な場所に退避させた後、使用を中止して最寄りの営業所へご連絡ください。

操作方法(各部)

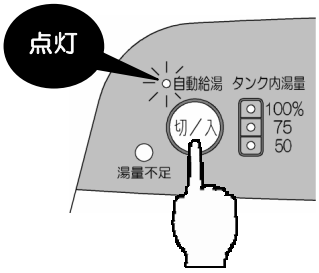
貯湯操作

●自動給湯「入」にする

1　浴槽後方の両側にあるタンク排水レバーを両側とも「閉じる」位置にします。

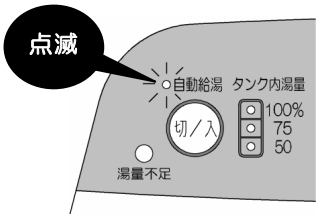


2　自動給湯スイッチを押すと自動給湯ランプが点灯し、貯湯タンクに給湯を開始します。

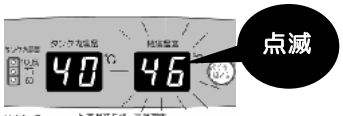


3　給湯温度の調節は給湯温度表示を見ながら、給湯ミキシングのレバーを動かして行います。（適温にしてタンクに貯湯します）

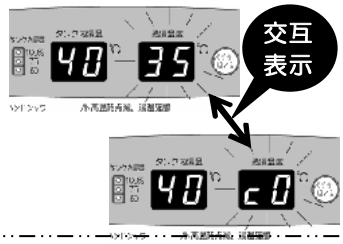
4　貯湯タンク内に給湯される湯温は**約 36℃～約 45℃**になっています。範囲外のときは、給湯が自動停止して自動給湯ランプが点滅します。



● **高温のとき**(約 46℃以上)はデジタル表示部が点滅して温度が高いことを知らせます。

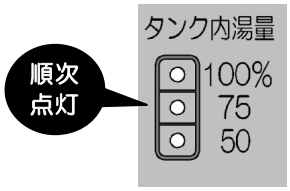


● **低温のとき**(約 35℃以下)はデジタル表示部に **c0** と実際の温度を交互に表示して温度が低いことを知らせます。



このとき、自動給湯スイッチを押し、給湯ミキシングを適温に調節することで（自動給湯ランプ点灯）再給湯されます。

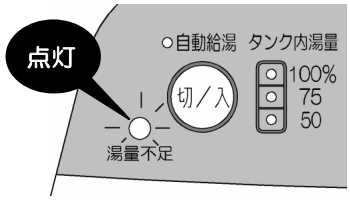
5　タンク内の水位が上がるとタンク内湯量ランプ(50%,75%,100%)が順次点灯し、満水になると給湯は自動停止します。



ご注意
- 電源を入れて最初の自動給湯では、湯温が安定するまでの 3 分間は給湯温度範囲外(35℃以下)の水でも給湯されます。
- 電源を切る前に必ず自動給湯を「切」にしてください。

湯量不足時の操作

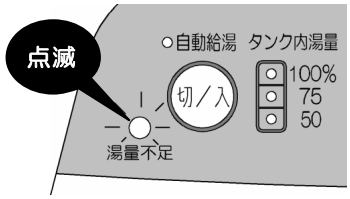
✸ 湯量不足ランプが点灯している場合



電源を入れたとき貯湯タンクが 100%未満の場合、湯量不足ランプが点灯します。貯湯タンクが 100%になると湯量不足ランプは消灯し、洗身・入浴が開始できます。湯量不足ランプが点灯中は、洗身・入浴を開始することができません。

（ただし、自動給湯「入」で、シャワー浴のみの設定にすると開始できます）

✸ 湯量不足ランプが点滅している場合



使用中に貯湯タンクが空になると湯量不足ランプが点滅します。ランプ点滅中は、洗身・入浴を開始することができません。

（湯量不足ランプが点滅したら、自動給湯「入」で約 40 秒後に湯量不足ランプが消灯します。）

・湯量不足ランプ消灯後、設定を継続する場合

開始スイッチを押して再開してください。

・終了する場合

排水スイッチを押して排水（終了）してください。

参考 **・洗身側が作動中に湯量不足（ランプ点滅）となった場合**

動作及び時間表示は停止します。

・入浴側の送湯中またはシャワー浴のみの設定のときに、湯量不足となった場合

動作及び時間表示は停止します。送湯完了後に湯量不足となった場合、動作は停止しますが、時間表示は停止しません。

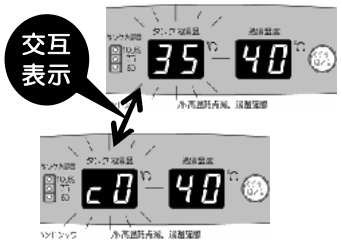
ご注意 本機に供給される湯及び水が適正使用圧力より低いと、タンクへの給湯量が少なくなり、入浴中の使用量に対しタンクへの貯湯がおいつかず、湯量不足ランプが点滅する場合があります。

タンク内高温及び低温時の操作

貯湯タンクから浴槽へ送湯及びシャワー吐出できる湯温は**約 36℃～約 43℃**までです。範囲外のときは開始スイッチを押しても作動しません。

● **高温のとき**(約 44℃以上)はデジタル表示部が点滅して温度が高いことを知らせます。

● **低温のとき**(約 35℃以下)はデジタル表示部に **c0** と実際の温度を交互に表示して温度が低いことを知らせます。



タンク内が満水で湯温が範囲外になっている場合は、タンク排水レバーを開けて少し排水してから自動給湯を ON にし、給湯ミキシングバルブを調節して適温になるように低温または高温の湯をタンクに足してください。

・設定を継続する場合

タンク内湯温を適温にした後、開始スイッチを押して再開してください。

・終了する場合

排水スイッチを押して排水（終了）してください。

参考

・洗身側が作動中にタンク内湯温が範囲外となった場合

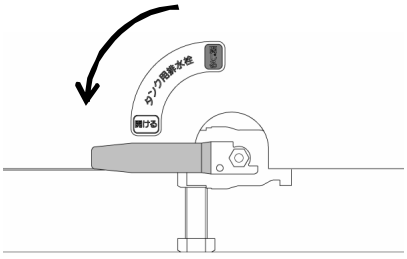
動作及び時間表示は停止します。

・入浴側の送湯中またはシャワー浴のみの設定のときに、タンク内湯温が範囲外となった場合

動作及び時間表示は停止します。送湯完了後にタンク内湯温が範囲外になったときは、動作は停止しますが、時間表示は停止しません。

貯湯タンクの排水

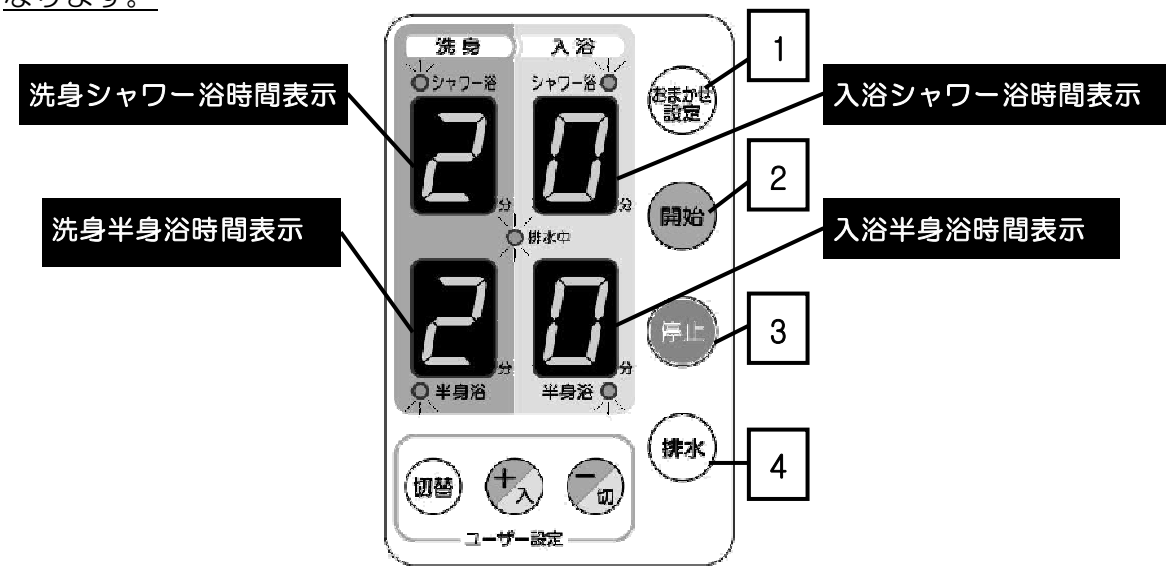
排水は、貯湯タンクの左右にあるタンク排水レバーを「開ける」位置に回します。



入浴の設定操作

● おまかせ設定

おまかせ設定とは、あらかじめ製品にセットされている標準的な設定です。この設定をすることで、無駄な設定操作を省き、簡単に洗身時間及び入浴の設定が可能となります。



1 おまかせ設定 スイッチを押します。

洗身シャワー浴が「2 分」、洗身半身浴が「2 分」、入浴シャワー浴が「入」、入浴半身浴が「入」と設定され、各設定の選択/動作ランプ（緑）が点灯します。

2 開始 スイッチを押します。
（洗身・入浴）

洗身時間のカウントが始まり、シャワードームからシャワーが吐出し、送湯が開始された後、シャンプー入りのシャワーが吐出(40 秒)します。浴槽内の湯が適量になると送湯は停止し、バブラーが自動で開始され、シャワーと半身浴による洗身が始まります。設定した時間から 1 分おきにカウントダウンし、時間表示が 0 になると、自動で排水し、バブラーが停止します。排水中もシャワーは吐出し続けます。

3 停止 スイッチを押します。

排水が終了すると、入浴時間のカウントが始まり、送湯が開始され、浴槽内の湯が適量になると送湯は停止し、バブラーが自動で開始され、シャワーと半身浴による入浴が始まります。入浴時間は 0～9 分まで 1 分おきにカウントし、10 分を超えた場合は 9.が点滅します。

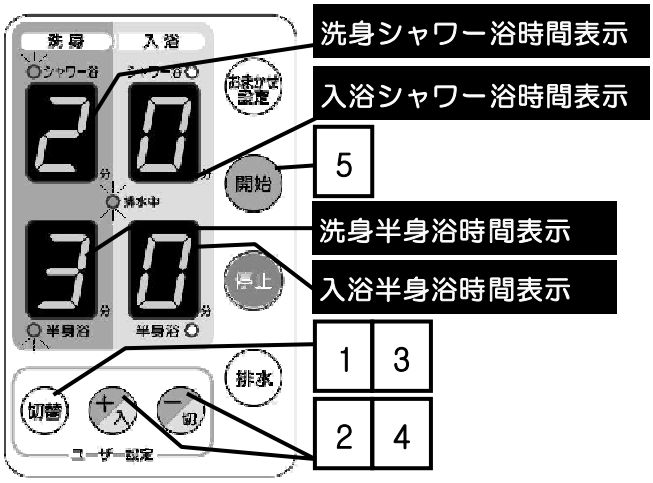
シャワーとバブラーは停止しますが、入浴時間表示は停止しません。

4 排水 スイッチを押すと、入浴時間表示が 0 に戻り、排水が開始され、おまかせ設定が終了となります。（出浴）

✹ユーザー設定

各種入浴の単独設定や様々な組み合わせの設定ができます。

（設定例 1～3 を参照してください。）



＜設定例 1　洗身だけしたい場合＞

洗身シャワー浴「2 分」・洗身半身浴「3 分」

1　(切替) スイッチを押します。

洗身シャワー浴設定の時間表示を点滅させます。

2　(＋入) スイッチまたは (－切) スイッチを押して時間を「2 分」に設定します。

設定時間は 2 分から 9 分までです。設定すると、洗身シャワー浴設定の選択/動作ランプ（緑）が点灯します。

3　(切替) スイッチを押します。

洗身半身浴設定の時間表示を点滅させます。

4　(＋入) スイッチまたは (－切) スイッチを押して時間を「3 分」に設定します。

設定時間は 2 分～9 分までです。設定すると、洗身半身浴設定の選択/動作ランプ（緑）が点灯します。

入浴側の選択/動作ランプ(緑)が点灯している場合、P. 18 参考を参照し、入浴側を「切」に設定してください。

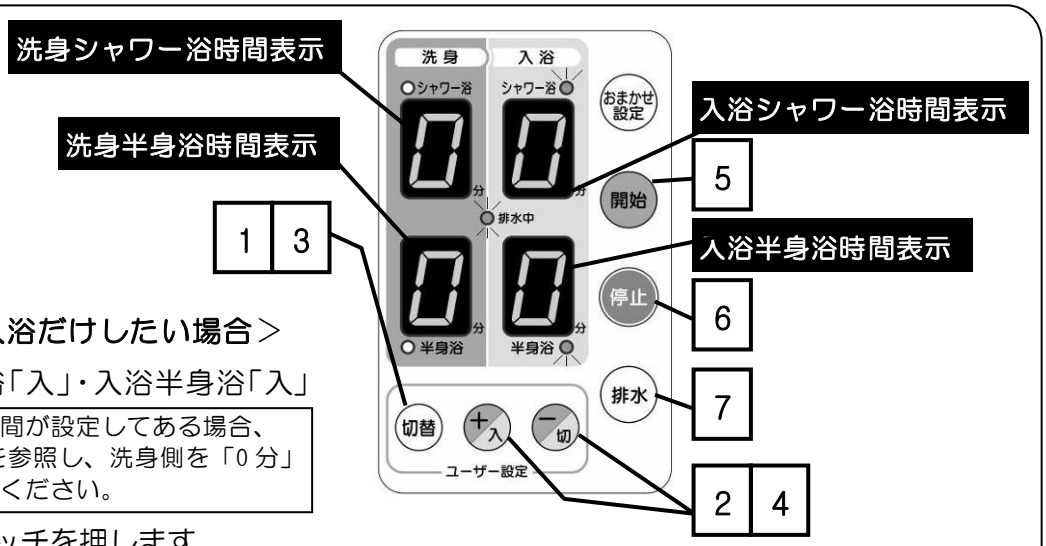
5　(開始) スイッチを押します。（洗身）

洗身時間のカウントが始まり、シャワードームからシャワーが吐出し、送湯が開始された後、シャンプー入りのシャワーが吐出(40 秒)します。浴槽内の湯が適量になると送湯は停止し、バブラーが自動で開始され、シャワーと半身浴による洗身が始まります。

6　設定した時間から 1 分おきにカウントダウンし、2 分後に洗身シャワー浴時間表示が 0 になり、シャワーが終了します。その 1 分後に洗身半身浴時間表示が 0 になり自動で排水し、バブラーが停止します。（出浴）

参考　洗身シャワー浴または洗身半身浴を「0 分」に設定する方法

(切替) スイッチを押して洗身シャワー浴設定または洗身半身浴設定の時間表示を点滅させ、(－切) スイッチを押して時間を「0 分」に設定すると、選択/動作ランプ(緑)が消灯します。



＜設定例２　入浴だけしたい場合＞

入浴シャワー浴「入」・入浴半身浴「入」

洗身側の時間が設定してある場合、P.17 参考を参照し、洗身側を「0 分」に設定してください。

1 (切替) スイッチを押します。

入浴シャワー浴設定の時間表示を点滅させます。

2 (+入) スイッチを押して入浴シャワー浴を「入」に設定します。

「入」に設定すると、入浴シャワー浴設定の選択/動作ランプ（緑）が点灯します。

3 (切替) スイッチを押します。

入浴半身浴設定の時間表示を点滅させます。

4 (+入) スイッチを押して入浴半身浴を「入」に設定します。

「入」に設定すると、入浴半身浴設定の選択/動作ランプ（緑）が点灯します。

5 (開始) スイッチを押します。（入浴）

入浴時間のカウントが始まり、シャワードームからシャワーが吐出し、送湯が開始されます。浴槽内の湯が適量になると送湯は停止し、バブラーが自動で開始され、シャワーと半身浴による入浴が始まります。入浴時間は 0～9 分まで 1 分おきにカウントし、10 分を超えた場合は 9.が点滅します。

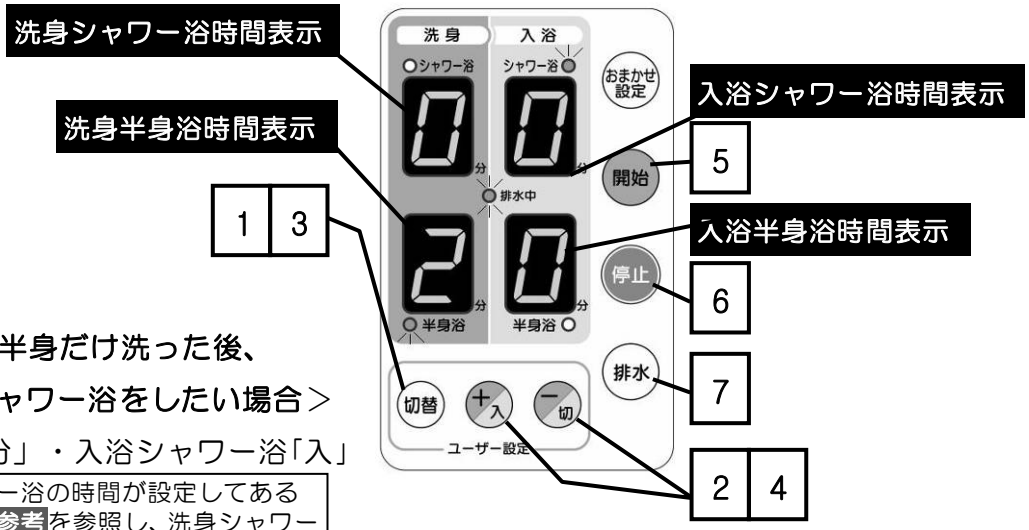
6 (停止) スイッチを押します。

シャワーとバブラーは停止しますが、時間表示は停止しません。

7 (排水) スイッチを押すと、入浴時間表示が 0 に戻り、排水が開始され、終了となります。（出浴）

参考　入浴シャワー浴または入浴半身浴を「切」に設定する方法

(切替) スイッチを押して入浴シャワー浴設定または入浴半身浴設定の時間表示を点滅させ、(−切) スイッチを押して入浴を「切」に設定すると、選択/動作ランプ(緑)が消灯します。



＜設定例 3　下半身だけ洗った後、
シャワー浴をしたい場合＞

洗身半身浴「2 分」・入浴シャワー浴「入」

洗身シャワー浴の時間が設定してある場合、P. 17 参考を参照し、洗身シャワー浴を「0 分」に設定してください。

1 切替 スイッチを押します。

洗身半身浴設定の時間表示を点滅させます。

2 入 スイッチまたは 切 スイッチを押して時間を「2 分」に設定します。

設定時間は 2 分～9 分までです。設定すると、洗身半身浴設定の選択/動作ランプ（緑）が点灯します。

3 切替 スイッチを押します。

入浴シャワー浴設定の時間表示を点滅させます。

4 入 スイッチを押して入浴シャワー浴を「入」に設定します。

「入」に設定すると、入浴半身浴設定の選択/動作ランプ（緑）が点灯します。

入浴半身浴の選択/動作ランプ(緑)が点灯している場合、P. 18 参考を参照し、入浴半身浴を「切」に設定してください。

5 開始 スイッチを押します。
（洗身・入浴）

洗身半身浴時間のカウントが始まり、送湯が開始されます。浴槽内の湯が適量になると送湯は停止し、バブラーが自動で開始され、半身浴による洗身が始まります。設定した時間から 1 分おきにカウントダウンし、時間表示が 0 になると、自動で排水し、バブラーが停止します。

排水が終了すると、入浴シャワー浴時間のカウントが始まり、シャワーが吐出し、シャワー浴が始まります。

6 停止 スイッチを押します。

シャワーと入浴時間が停止します。

7 排水 スイッチを押すと、入浴シャワー浴時間表示が 0 に戻り終了となります。（出浴）

参考

・洗身が設定時間通りに終了した場合と、入浴を中止した場合のみ、洗身設定時間及び入浴設定が記憶され、電源投入後又は次回の設定時に再度表示されます。洗身を途中で中止した場合、設定時間は次回の設定時に再度表示しますが、電源投入後には表示されません。

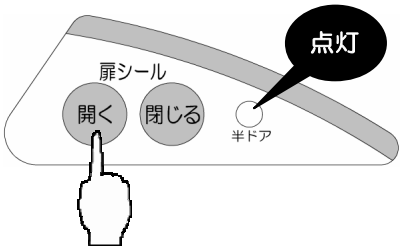
・タンク内にお湯が入っていないときは、開始スイッチを押しても半身浴は開始することができません。給湯については、P.13 **貯湯操作**を参照してください。

・洗身シャワー浴、洗身半身浴設定が共に「0 分」で、入浴シャワー浴、入浴半身浴設定が共に「切」のときは、開始スイッチを押しても洗身、入浴共に開始できませんのでご注意ください。

ご注意

動作が開始しない場合や、突然動作が止まった場合は、湯量が不足しているかまたはタンク内の温度が範囲外となっているため、P.14 **湯量不足時の操作**または P.15 **タンク内高温及び低温時の操作**を参照してください。

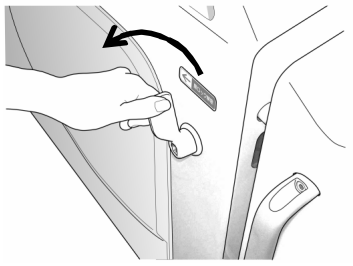
扉の開閉操作



●扉を開ける

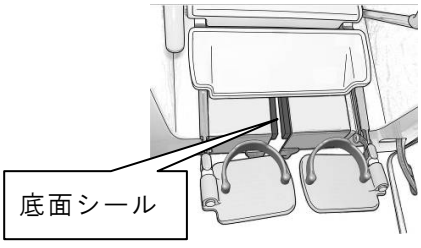
1 シャワードームを上げます。

2 扉シール「開く」スイッチを押すと扉シールが解除されます。



3 扉ロック解除レバーを扉と反対側に倒し、扉の把手を持って扉を開きます。扉は約 90°の位置で止まります。

4 浴槽の底面シールは、扉を全開にすると自動的に開きます。

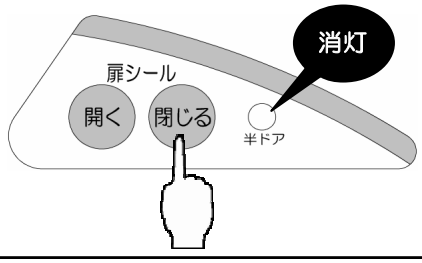


●扉を閉める

1 入浴用車椅子を浴槽内に入れ、底面シールが閉まったことを確認します。

2 扉の把手を持って扉を閉めます。

3 扉シール「閉じる」スイッチを押すと扉シールが作動し、完了すると半ドアランプが消えます。その後、シャワードームを下ろします。



参考　浴槽内に湯水がある場合は、扉シール「開く」スイッチを押しても扉シールは開きません。（浴槽底面から 80 ㎜程度残っている場合を除く）
完全に排水されたことを確認してから操作してください。

⚠警告　扉を開閉するときは、周囲を確認し、入浴者の手足に注意

扉の動作範囲内に人や障害物があると、事故の原因となります。また、足先や手先が挟まれると、けがをする恐れがあります。

⚠注意　扉はシャワードームを上げた状態で閉めること。

シャワードームを下げた状態で扉を閉めると、扉がシャワードームに当たり、破損する恐れがあります。

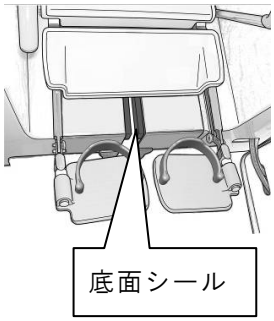
●入浴休止・終了の注意

1日の入浴作業の終了や昼休みなどで入浴作業を休止する場合は、入浴用車椅子を浴槽の外へ退出させ、扉を閉めてください。（シールは作動させない）

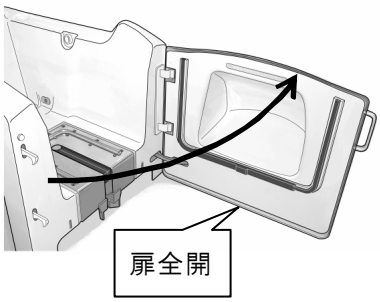
⚠注意　入浴しないときは、扉シール及び底面シールを作動させない

底面シールの開閉

底面シールは入浴用車椅子を浴槽内の所定の位置に入れると自動的に閉まります。
また出浴の際も、扉を全開にすると自動的に開きます。



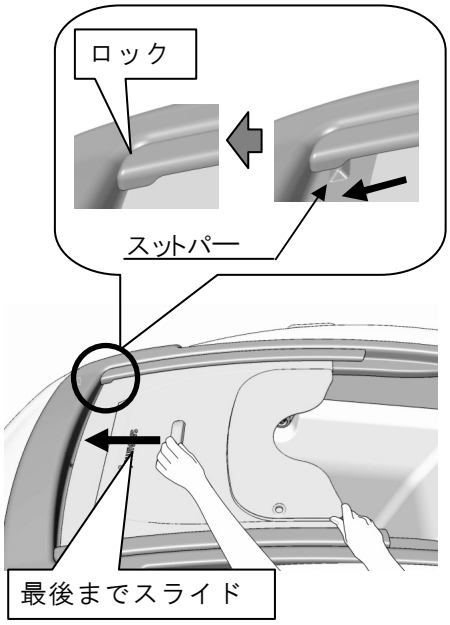
入浴用車椅子を浴槽内にセットしてすぐに、底面シールを開きたい場合は、扉を全開にして扉シール「開く」スイッチを押すか、扉を一度閉側にしてから再度全開にすると底面シールが開きます。



ご注意　底面シールはシャワードームが上がっているときのみ開きます。

シャワードームの上げ下げ

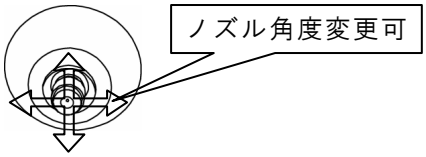
シャワードームはハンドルをにぎり手動で上下させます。シャワードームを上げる前に、ネックマットを扉側スライドし、ストッパーにロックしてから上げてください。（P.24　ネックマットのスライド操作参照）

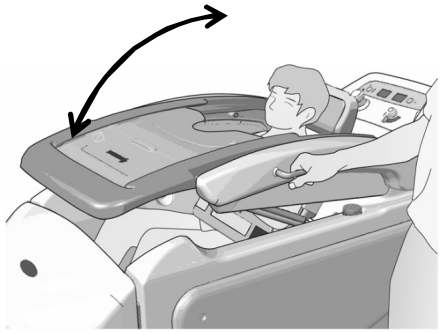


シャワードームにはボディシャワー用ノズルが6か所あり(*)角度を変えることができます。

ボディシャワー吐出中にシャワードームを上げると、シャワーは停止します。ただし、周囲に湯が飛びますので停止スイッチを押してから上げてください。

(*)ノズルは浴槽に4か所、シャワードーム6か所、計10か所あります。浴槽底面のノズルは角度の変更ができません。





⚠ 注意　シャワードームを上げる前に、ネックマットを前方に最後までスライドしロックすること

ネックマットをロックしないでシャワードームを跳ね上げると、ネックマットが滑り落ち危険です。

⚠ 注意　シャワードームを上げ下げするときは、入浴者の状態に注意してゆっくり操作する

入浴者の手が浴槽の縁にあった場合、シャワードームと浴槽の間に手を挟む恐れがあります。

ご注意　入浴中、シャワードームを上げると停止スイッチを押したのと同じ状態となります。このとき、排水スイッチを押すと排水されますので注意してください。（通常の操作では停止スイッチを押さないと排水操作はできません）

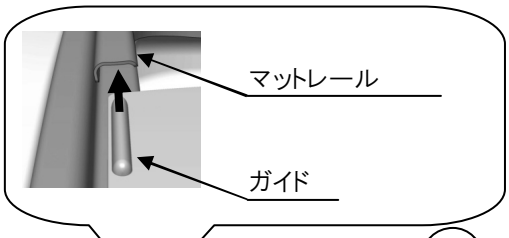
ネックマット・ネックシートの使用方法

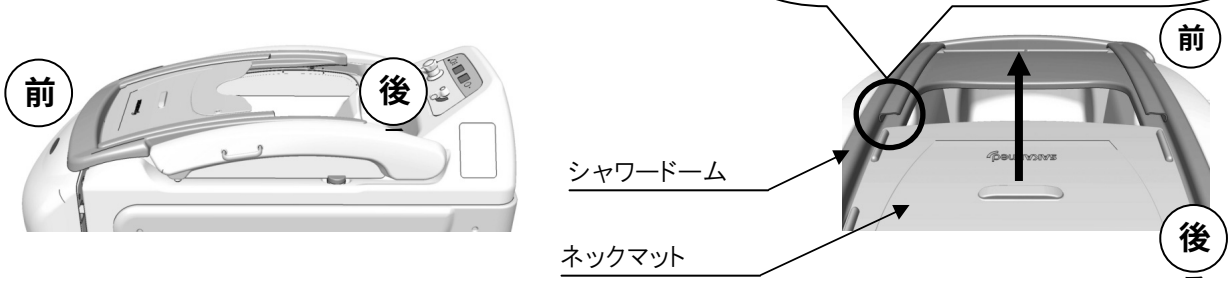
ネックマット、ネックシートは、シャワー浴を行う際にドーム内の保温性を高め、入浴者の顔や耳にシャワーが掛からないようにするためのマットです。入浴者の状態（体格、姿勢）に合せて、ネックマットを首元にスライドして使用します。

✹ネックマットの取り付け、取り外し

シャワードームの後方から、マットレール内にネックマットの両端のガイドが入るように差込みます。

取り外す際は、シャワードームの後方に引き出してください。

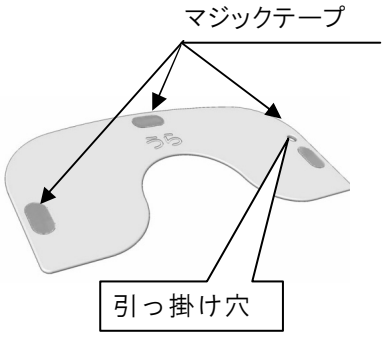




✹ネックシートの取りつけ、取り外し

首周りのスペースを広げる為、ネックマットからネックシートを取り外して使用することも可能です。

ネックマットとネックシートはマジックテープ（3 か所）で固定されている為、簡単に脱着できます。



参考 **ネックシートには、ネックマットから取り外した際に引っ掛ける為の穴が、付いています。**

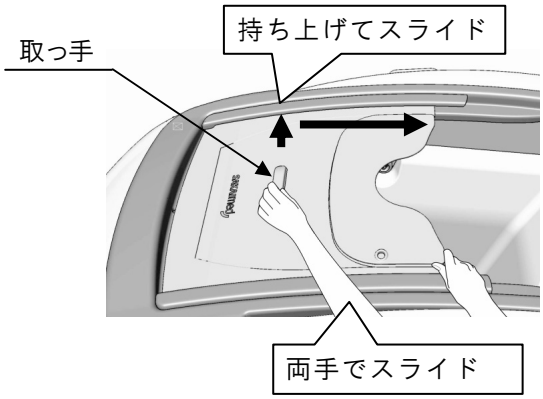
✹ネックマットのスライド操作

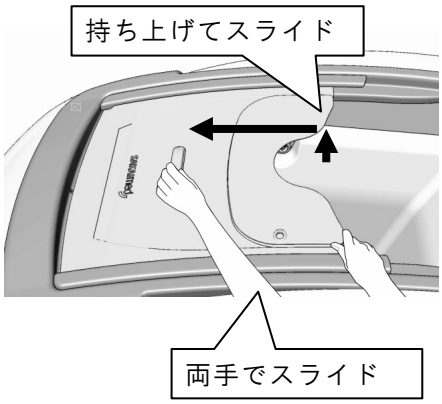
<ネックマットの使用時>

ネックマットは入浴者の状態に合せて、スライドさせることが可能です。

入浴者側へスライドさせる際は、ネックマット本体と取っ手を持ち上げ、ゆっくりと入浴者の首元へスライドします。

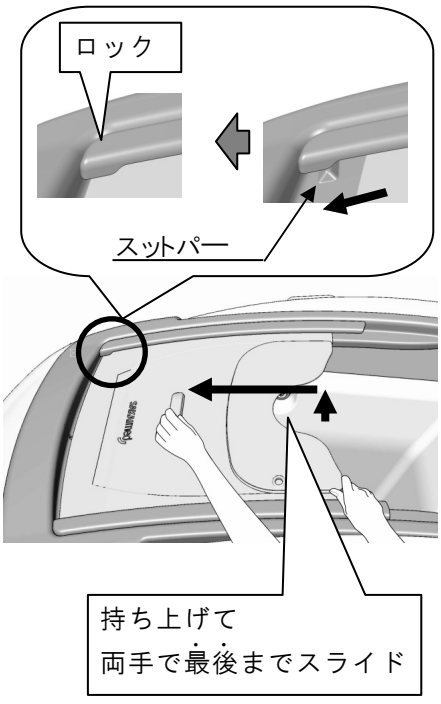
扉側へスライドさせる際は、ネックマット本体と取っ手を持ち上げ、ゆっくりと扉側へスライドさせます。





<ネックマットのロック(シャワードームを上げるとき)>

シャワードームを上げる際は、ネックマットを扉側へ最後までスライドさせ、ストッパーにロックさせてからシャワードームを上げてください。



入浴の開始・終了

✹入浴の開始

入浴設定終了後、シャワードームを下ろし開始スイッチを押すと、シャワーが吐出し、湯が貯湯タンクから浴槽内へ送湯されて入浴を開始します。

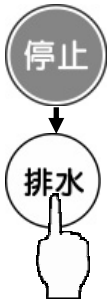
参考 半身浴のみの設定の場合、シャワードームを上げた状態でも洗身・入浴が可能です。

⚠警告　送湯前にタンク内湯温表示で湯温を確認

入浴開始前には必ずタンク内の湯温をタンク内湯温表示で確認してください。確認しないで入浴スイッチを押すと、熱めの湯が止まらないでシャワーの吐出及び、浴槽に送湯がされ、入浴者にやけどを負わせる恐れがあります。

✹入浴の終了

入浴を終了するには、停止スイッチを押した後に、排水スイッチを押して浴槽内の湯を排水し、入浴を終了します。



参考 排水中は半身浴の開始はできません。（汚水による再入浴防止のため）しかしシャワー浴のみ設定は開始できます。

✹入浴の再開

一日の最初の入浴や、入浴間隔が開いてしまった場合には、シャワーの出始めの湯が冷めていることがあります。そのようなときには、入浴の前に以下の操作をすることにより、冷めた湯を排出することができます。

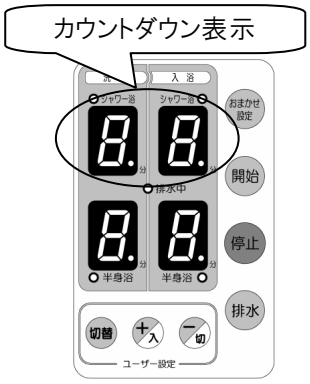
1　車椅子を浴槽に入れない状態で、扉をしめます。
（このとき扉のシール動作は不要）

2　シャワードームを下げます。

3　設定操作パネルの開始スイッチを押します。

4　シャワーノズルから湯が20秒間出ます。

- 配管内に湯が満たされる時間がかかるため、実際にシャワーノズルから湯が出るのは後半の7秒間程度です。
- 設定操作パネルの時間表示部で20秒のカウントダウンを行います。
- 設定操作パネルの停止スイッチを押すと、動作はキャンセルされます。
- ドームをあけたり、扉をあけたりすると動作はキャンセルされます。

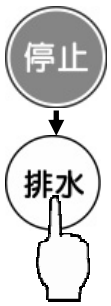


5　ドームを上げ、扉を開き、通常の入浴作業を行ってください。

洗身・入浴工程途中の停止・排水

●送湯の停止

送湯を途中で止めるには、停止スイッチを押します。（再開するには再度、開始スイッチを押します）



●浴槽内の排水

排水するには、停止スイッチを押した後に排水スイッチを押します。

●ボディシャワーの停止

洗身・入浴工程途中にボディシャワーを停止する場合は、停止スイッチを押します。

●洗身工程途中に停止した場合の時間カウント

洗身工程途中に停止スイッチを押した場合、時間カウントは停止します。停止中は、洗身時間表示右下の点が点灯し、選択／動作ランプ（緑）が点滅します。

●入浴工程途中に停止した場合の時間カウント

入浴工程途中に停止スイッチを押した場合、時間カウントは停止しません。但し、送湯中に停止した場合は、時間カウントは停止し、入浴時間表示右下の点が点灯し、選択／動作ランプ(緑)が点滅します。

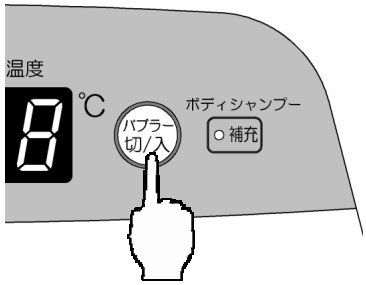
バブラー

バブラーは入浴を開始して、浴槽内に湯が送湯されると自動的に開始します。

洗身・入浴工程途中に停止スイッチを押した場合、バブラーは停止します。

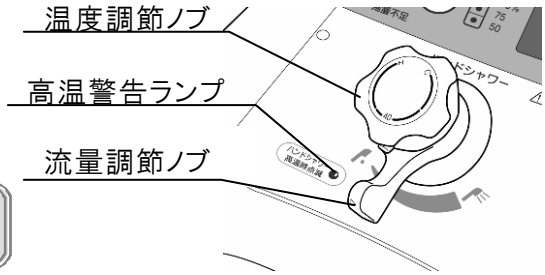
バブラーは操作部パネルのバブラー切／入スイッチを押すたびに停止と開始に切り替わります。

浴槽内に湯がない状態でもバブラーは作動します。



参考 洗身・入浴工程途中でバブラーを停止して設定操作パネルの停止スイッチを押したあと、再び開始スイッチを押して引き続き入浴工程を行った場合、バブラーは作動しません。

ハンドシャワー



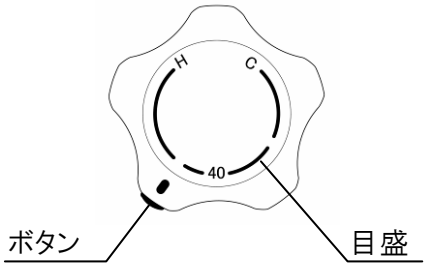
1　流量調節ノブで、ハンドシャワーの開閉及び流量調節を行います。

⚠ 注意　流量調節ノブはゆっくり回す

2　温度調節ノブで、シャワーの温度調節を行います。温度調節ノブを「H」の方に回すと温度が上がり、「C」の方に回すと温度が下がります。シャワーの湯温が43℃以上になった場合は、高温警告ランプが点滅して、高温であることを知らせます。高温警告ランプが点滅していても、シャワーは吐出し続けるので注意してください。

⚠ 警告
- **ハンドシャワーを入浴者にかける前や使用中にも必ず手で湯温を確認**
  熱い湯が配管内に溜まっている場合がありますので、確認する前に安全な所に吐水して、最初の湯は捨ててください。
- **ハンドシャワーの温度調節ノブはゆっくり回す**
- **ハンドシャワーをかけたままにして入浴者から離れない**

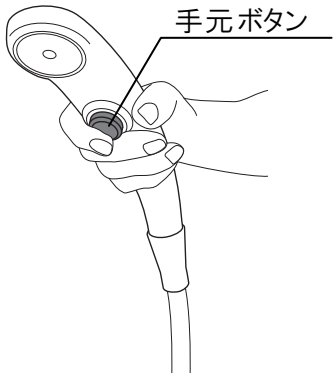
3　温度調節ノブには、誤って熱湯を出さないようにボタンが付いており、温度調節ノブを「H」の方に回すと、目盛“40”付近で停止します。さらに高温のお湯を出す場合には、ボタンを押したまま温度調節ノブを回すことにより使用できますが、やけどの恐れがあるため、通常はノブの停止位置より温度の低い範囲でご使用ください。



⚠ 警告　高温でハンドシャワーを使用した後は、必ず温度調節ノブを元に戻す

4　ハンドシャワーは、手元ボタンを押すごとに吐出のON/OFFを切替えることができます。

但し、手元ボタンのため、止水が不十分になる場合があります。



⚠ 注意　使用後は流量調節ノブで湯を止めてから、シャワーホース内の加圧水をすてる

参考　浴槽内の湯温の低下を防止したり、洗身工程中に直接洗身するのに使用できます。

ボディシャンプー

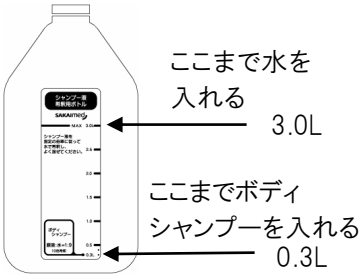
ボディシャンプーは洗身を開始すると 40 秒間自動的に注入され、シャワードームのノズルから湯に混ざって吐出されます。

● 使用するボディシャンプー

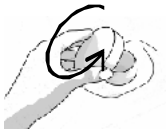
推奨品　メ ー カ ー：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
　　製　品　名：ジョンソン®ベビー　ベビー全身シャンプー

● ボディシャンプーの補充

シャンプー液が少なくなると、「ボディシャンプー補充」ランプ(P.9)が点灯します。点灯した場合は、速やかにシャンプー液を補充してください。補充は、次の手順で行ってください。



1　補充シャンプー液を作ります。推奨のボディシャンプーを使用する場合、付属の希釈ボトルの 0.3L の線まで原液を入れ、水道水または精製水を 3.0L の線まで加えて 10 倍に希釈します。（*）
2　シャワードームを上げます。
3　シャンプー液補充の注入口の蓋を回して開けます。
4　1 で希釈したシャンプー液を、こぼさないように入れます。
5　シャンプー液タンクの注入口の蓋を回して閉めます。
6　シャワードームを下げます。

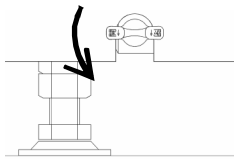


*推奨品以外のボディシャンプーを使用する場合も、同様に希釈してください。

⚠ 注意　ボディシャンプーの一部には浴槽等を侵すものがあります
詳しくは最寄りの営業所にご相談ください。

● ボディシャンプーの排水

ボディシャンプーの排水は補充口下にある、シャンプー排出栓で行います。

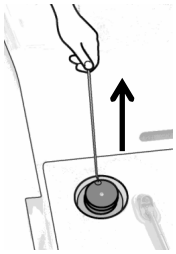


ご注意
- 排水したシャンプー液は、シャンプー排出栓下の床面に流れ出します。排水後は水で床面をきれいに洗い流してください。
- 長期間(1 か月以上)浴槽を使用しない場合、配管内のシャンプー液の固着を防ぐため、シャンプータンク内のシャンプー液を排出してください。排出後、タンク内に水を入れ、洗身工程のシャワー浴を 2 回行い、配管内のシャンプー液を排出してください。シャンプータンク内の水は再度排出してください。

非常時の操作

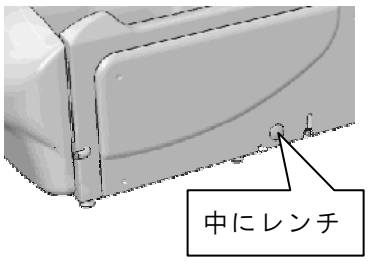
● 扉手動開放の操作

入浴中、停電または故障により装置が動かなくなったときは、以下の手順で扉を開放し入浴者を浴槽から出して、入浴作業を中止してください。

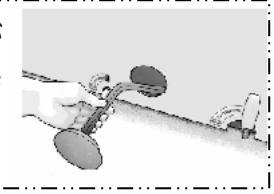


1 排水栓の玉鎖を引きつづけ、浴槽の湯を完全に排水します。

2 浴槽側面のゴムキャップを外し、中から扉手動開放レンチを取り出します。



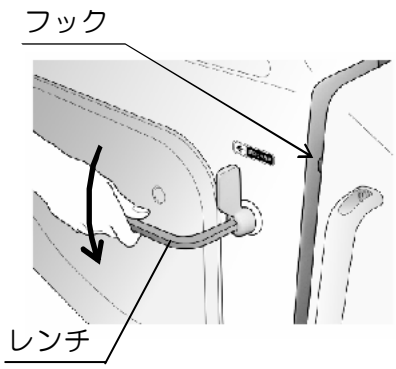
レンチの収納は･･･図のように曲がりをタンク側に向けて差し込んでください。



3 扉ロック解除レバーの角穴にレンチをさし込み、下へ力強く押し下げます。

4 フックが外れます。

5 扉の把手を持って手前に引いて、ゆっくり開けます。



⚠ 警告　非常時は扉フックを解除する前に必ず浴槽内の湯を完全に排水する

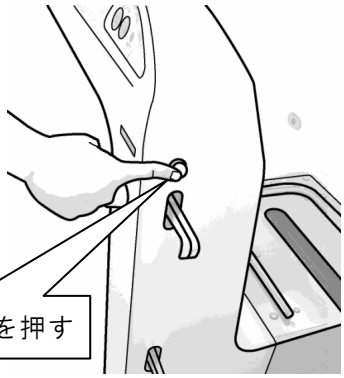
● 車椅子を出す場合の操作

扉を手動開放し電源復帰後は、以下の手順で扉シール及び、底面シールを開放してください。

1 排水栓が閉じている場合、排水スイッチを押して、排水栓を開けます。

2 扉の把手を持って扉を全開に開いて、扉検知ボタンを押しながら扉シール「開く」スイッチを押します。

3 扉シールが解除され、底面シールが開きますので、車椅子を浴槽から引き出します。



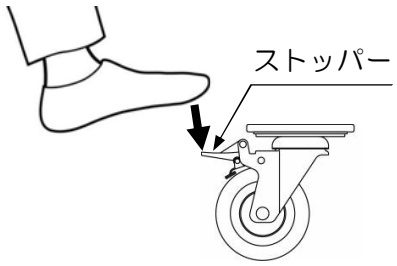
参考 誤って底面シールを閉じたまま電源を切ってしまった場合、電源復帰後、同様の操作で底面シールが開きます。

入浴手順

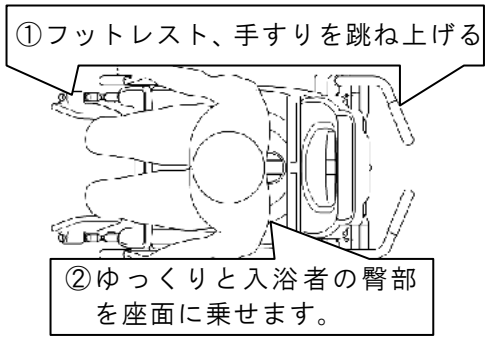
◎「浴槽の操作」「入浴用車椅子の操作」を参照し、注意事項を守りながら入出浴の操作をしてください。

1 車椅子への移乗

❶ 車椅子のキャスターをロック



❷ 車椅子に移乗

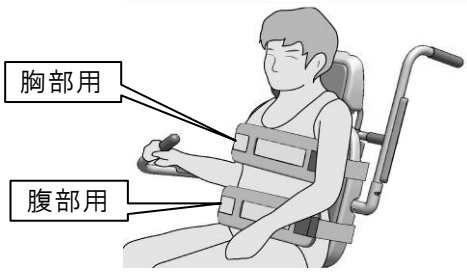


⚠ 警告　車椅子への移乗作業等は落下・転倒に注意

❸ フットレストに足を乗せる

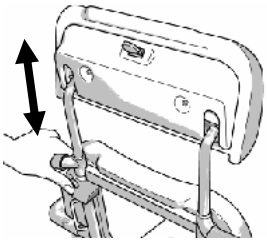
⚠ 警告　入浴者をフットレストの上に立たせない

❹ 安全ベルトを着用し、手すりを握らせる

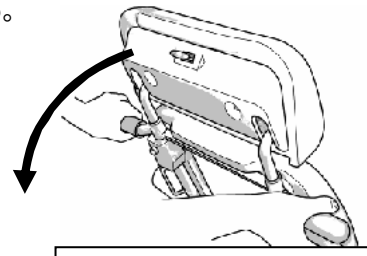


⚠ 警告　車椅子に乗せたら安全ベルトを必ず使用する

❺ 枕の高さを調節する。



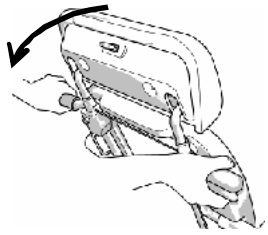
❻ 必要により背当をリクライニングさせる。



入浴車椅子の操作方法参照

2 浴槽への進入

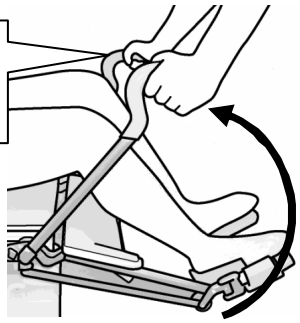
❶ 背当てのリクライニング



背当てをたおす(54° の位置)

❷ フットレスト持ち上げる

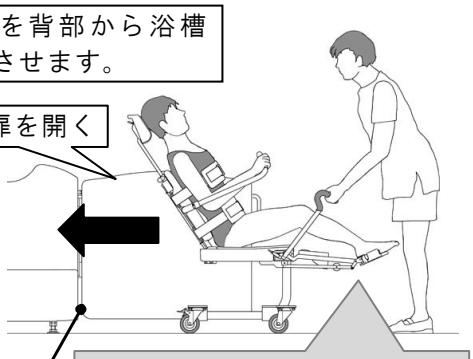
浴槽内進退用ハンドルを使用します。



❸ 浴槽へ進入

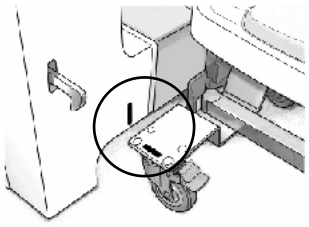
車椅子を背部から浴槽へ進入させます。

浴槽の扉を開く



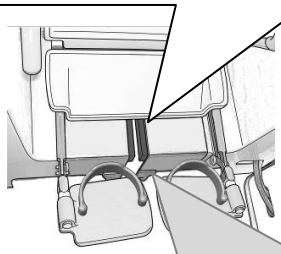
⚠ 警告　足元の脱落に注意

車椅子と浴槽の青マークを合わせる



❹ 車椅子の支柱をはさみ込んで固定

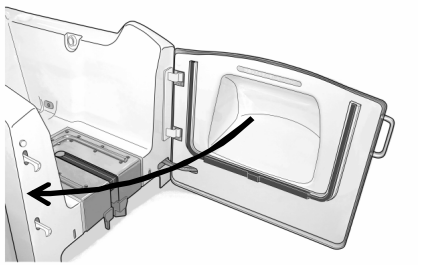
車椅子を所定の位置まで押し込むと自動的に底面シールが作動します。



⚠ 警告　底面シールへの足の挟み込みに注意

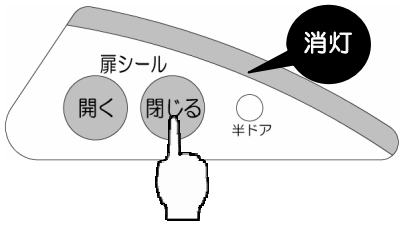
3 入浴

❶ 扉を閉める



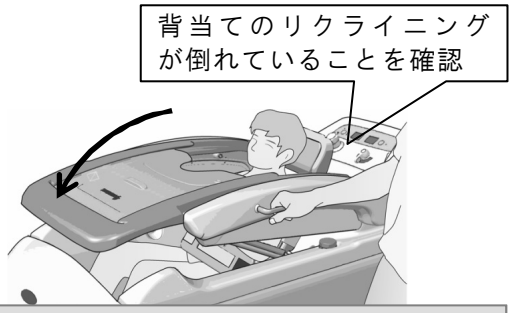
⚠ 警告　閉めるときは挟み込みに注意

❷ 扉シールを閉める



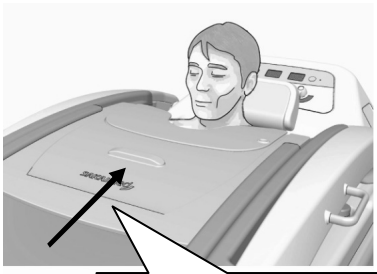
「閉じる」を押すと扉シールが作動し半ドアランプが消えます。

❸ シャワードームを降ろす



⚠ 注意　入浴者に当たらないよう注意

❹ ネックマットを入浴者側へスライドする



ゆっくりとスライド

❺ 洗身・入浴の設定

P.16 **入浴の設定**の操作手順を参考

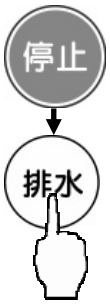
❻ 入浴開始

「開始」スイッチを押します。

⚠ 警告　入浴中の入浴者の状態を常に注意

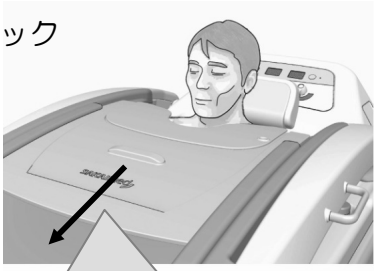
4 出浴

❶ 入浴の終了



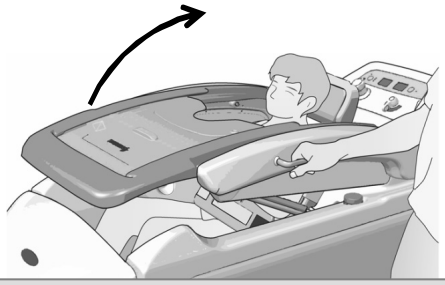
入浴を終了する際は、「停止」スイッチを押して、「排水」スイッチを押すと浴槽内の湯が排水されます。

❷ ネックマットを扉側へスライドしロック



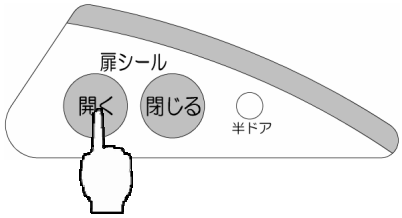
⚠ **注意 最後までスライドしロック**

❸ シャワードームを上げる



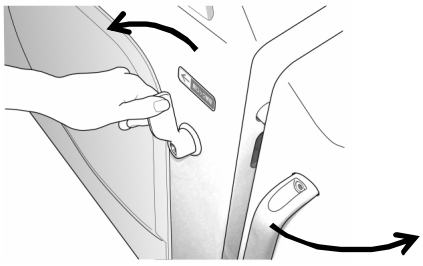
⚠ **注意 入浴者に当たらないよう注意**

❹ 扉シールを解除



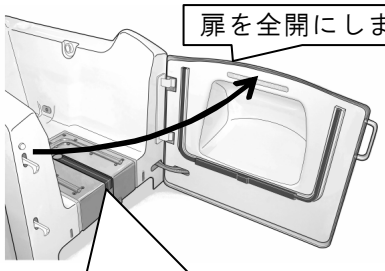
排水を確認後、「開く」スイッチを押します。

❺ 扉を開く



扉ロック解除レバーを扉と反対側に倒し、扉の把手を持って開きます。

❻ 底面シールを解除

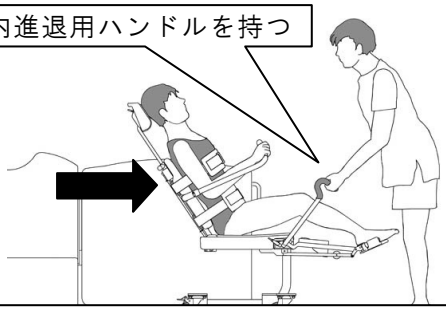


浴槽の底面シールが自動的に開き、退出が可能となります。

5 入浴用車椅子の退出

❶ 浴槽の外へ引き出す

浴槽内進退用ハンドルを持つ

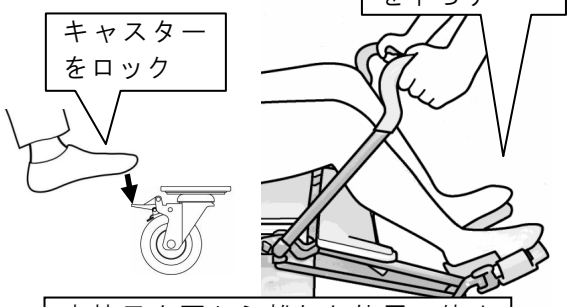


入浴者の身体や車椅子が扉や扉のシール部に当たらないように注意してください。

❷ 安全な場所に移動

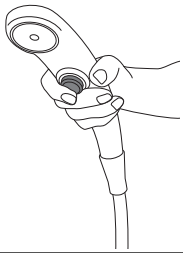
キャスターをロック

フットレストを下ろす



車椅子を扉から離れた位置に停止させます。

❸ 清拭作業



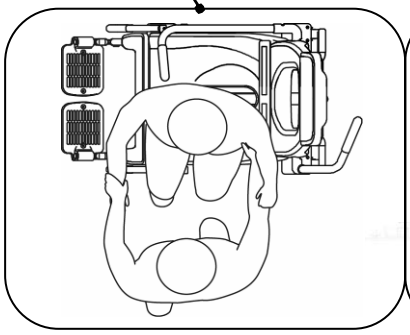
シャワーを掛けたり、清拭をします。

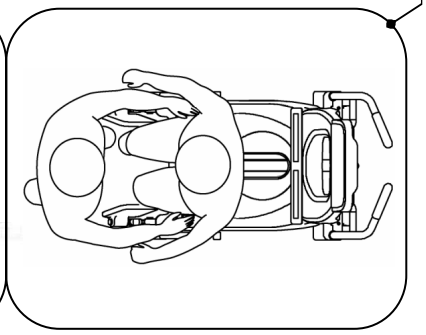
⚠警告　必ず手で湯温を確認

❹ 車椅子から降ろす

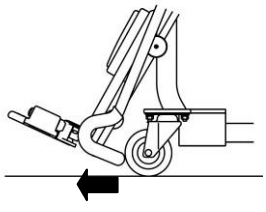
- サイド(左または右側)から降ろす場合
  フットレストを降ろし、手すりをはね上げて、入浴者の足をサイド(左または右)へ回し、介助しながら立ち上がらせます。

- 前方から降ろす場合
  フットレストを外側へ跳ね上げて、前方から介助しながら立ち上がらせます。





ご注意　移乗の際、車椅子後部が浮き上がることがありますので注意してください。前輪２輪のキャスターがフットレストに近づくようにキャスターの首を振らせると安定性が増します。

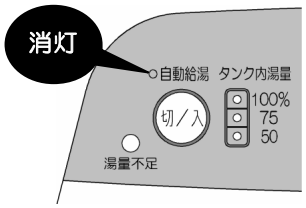


⚠警告　・入浴者をフットレストの上に立たせない
・車椅子を移動するときは、浴室の排水溝蓋の隙間等に注意

入浴終了後の操作

１日の入浴作業が終了したときや、昼休みのため入浴作業を休止するときは、以下の操作をしてください。

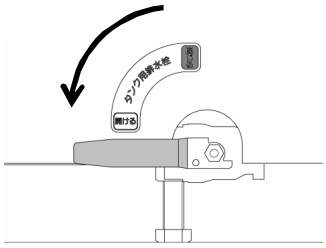
1　浴槽操作部の自動給湯ランプが消えていることを確認します。ランプが点灯していたら、自動給湯スイッチを押して消灯します。



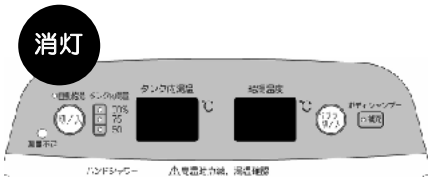
2　浴室の窓を開けるなど十分に換気をします。浴室の湿度を下げて、湿気による錆やカビなどの発生を抑えます。

3　気泡発生管内の水を取り除くため、操作部パネルのバブラー切／入スイッチを押して 3 分程度バブラーを作動させてください。

4　浴槽両側面のタンク排水レバーを「開ける」の位置に回して、タンク内の湯を排水します。
（1 日の入浴作業が終了した場合）



5　浴室の電源を切って、浴槽操作部の表示ランプ類が消灯していることを確認します。



⚠ 注意　電源を切る際は、必ず自動給湯ランプが消えていることを確認する

自動給湯が ON のまま電源を切ると、貯湯タンク内に水が給湯され続けます。また、自動給湯が停止するには時間がかかるので自動給湯 OFF 後、約 15 秒おいた後に電源を切ってください。

ご注意　浴槽の電源を切るときは、車椅子を浴槽外に出してください。浴槽内に入れたまま電源を切ると、次の使用時に底面シールがシールしたままとなり通常の操作でシールを開くことができなくなります。誤って底面シールをしたまま電源を切ってしまったら、P.29「非常時の操作」の“車椅子を出す場合の操作”の手順に沿って、底面シールを開けてください。

日常のお手入れ

清掃

- 1日の入浴作業終了後は、浴槽内をきれいに洗浄してください。
- ホースやシャワー等で洗浄するのは、浴槽内側だけにしてください。外側、特に操作部や浴槽カバーの合わせ目には水をかけないでください。
  浴室床面を洗う際には水がはねかからないように注意してください。
- 操作スイッチは雑巾等で軽く拭く程度にしてください。
- 本浴槽は FRP 製です。たわし等で擦ると傷がつきますのでスポンジ等の柔らかいもので洗浄してください。
- 洗剤は市販の中性洗剤をご使用ください。
- ステンレス部は水滴をそのままにしておくと水垢が残り汚くなります。乾いた布で水滴をきれいに拭きとってください。
- ネックマットは取り外し後、市販の中性洗剤で洗浄し、直射日光を避け陰干ししてください。その際、マットの変形を防止するため、マットの上にモノを置かないでください。(P.23　ネックマットの取り外し参照)
- シャワードーム(プラスチック)は、乾いた布で水滴をきれいに拭きとってください。

⚠注意　・ネックマット、ネックシートの損傷に注意

古くなって破れたら、新しいものと交換してください。

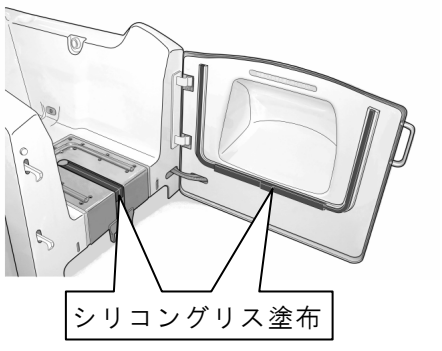
・入浴終了後は、シャワードームからネックマットを外すこと

シャワードームにネックマットを長時間ロックしたままにすると、マットが変形しロックが弱くなる恐れがあります。

- **薬液殺菌方法**（塩素濃度　約 1ppm の殺菌）
  ◎毎日の入浴作業終了後に、実施してください。

	作　業　手　順	備　　考
1	車椅子を浴槽内にセット	
2	入浴半身浴を設定	P.18 操作設定を参照 入浴シャワー浴「切」・入浴半身浴「入」
3	開始スイッチを押す	
4	浴槽に湯が溜まったら、**塩素 3cc** を浴槽へ投入	液は**次亜塩素酸ナトリウム 6%溶液**。 （送湯湯量 130ℓに対して、1ppm の塩素濃度になります。ー当社推奨値ー） 自動でバブラーが作動します。（湯を撹拌）
5	3 分間放置	殺菌します。
6	停止スイッチを押す	
7	排水スイッチを押す	
8	車椅子を出す	他にも車椅子がある場合 車椅子をセットして 3～8 を繰り返し、他の車椅子を殺菌してください。
9	浴槽と車椅子をシャワーで水洗いする	塩素をよく洗い落とします。
10	バブラーを 30 秒間作動	バブラー内の排水をします。
11	乾拭きする	
12	電源を切り、室内を換気する	

メンテナンス



- 底面シール(上面、側面、先端)及び扉シール表面(特に中央突起部)には定期的にシリコングリス(信越シリコン G501：付属品)を塗布してください。
- ごみ等が付着している場合は布等で拭き取り、付属のハケで塗布します。
  (硬い物で塗布するとシールを傷つけます)
- 底面シール上面と先端は、浴槽に入浴用車椅子を進入させ、底面シールが入浴用車椅子の支柱をはさんで固定した後、薄く塗布します。

⚠注意　必ず付属のシリコングリスを使用する

- 底面シール側面には、入浴用車椅子が浴槽内にない状態で塗布します。
- 本浴槽は油圧駆動方式を採用しています。オイルタンク内にごみや水分が混入すると故障の原因となりますので、2 年に一度作動油の交換が必要です。
  (弊社サービスマンにご用命ください)

このようなときには

症　　状	原　　因	対　　策
貯湯タンクに給湯しない。	電源が入っていない。 （自動給湯時）	電源を入れてください。
	給湯温度が 36℃～45℃以外になっている。 （安全装置が作動している）	自動給湯ボタンを押して、給湯ミキシングを適温（給湯温度 36℃～45℃）の位置に調節してください。
	給湯水配管のトラブル	最寄りの営業所にご連絡ください。
自動給湯が停止しない。	停電している。	給湯水配管の元バルブを閉めてください。
	自動給湯開閉弁のトラブル	給湯水配管の元バルブを閉めた後、最寄りの営業所にご連絡ください。
開始スイッチを押しても 送湯されない。	電源が入っていない。	電源を入れてください。
	貯湯タンクの湯量が不足している。	貯湯タンクに給湯してください。
	貯湯タンク内湯温が 44℃以上になっている。 （安全装置が作動している）	貯湯タンク内湯温を 43℃以下に下げてください。
	シャワードームが上がっている。	シャワードームを下げてください。
排水スイッチを押しても排水しない。	排水栓にガーゼ、タオル等が詰まっている。	排水栓に詰まっているものを取り除いてください。
	自動開閉弁のトラブル	排水栓を開けて排水を行ってから入浴者を浴槽の外に出し、最寄りの営業所にご連絡ください。
送湯時に異音がする。	ポンプのトラブル	最寄りの営業所にご連絡ください。
給湯温度が一定しない。	圧力調整弁のトラブル	最寄りの営業所にご連絡ください。
	圧力比が適正範囲外	圧力比を適正値に調節してください。 P.12 参照
	他の設備で大量に使用している。	・使用時間の調整 ・給湯器の能力アップ
給湯温度が低すぎる。または高すぎる。	ミキシング調節不良	ミキシングを再調節してください。
	給湯水の圧力比が適正範囲外	圧力比を適正値に調節してください。 P.12 参照
温度表示が E0、E1 または E2 を点滅表示している。	温度センサーの故障	最寄りの営業所にご連絡ください。
半ドアランプが点滅している。	扉の異常、または故障	非常時の操作にもとづき扉を正常な状態に戻してください。P.29 参照
扉がシールしているのに半ドアランプが点灯している。	瞬間的な停電によるトラブル	排水スイッチを押して、25 秒後に扉シール「開く」スイッチを押します。その後浴槽から車椅子を退出させてください。
シャワードームを上げるとネックマットが落下する。	ネックマットの磨耗や劣化	最寄りの営業所にご連絡ください。

・その他、ご不明な点につきましては最寄りの営業所にご相談ください。
・ご使用中万一故障が発生したら、ただちに入浴者を安全な場所に退避させた後、使用を中止して最寄りの営業所へご連絡ください。

機器の保守・点検について

・本製品をご使用する際は、機器の管理者の方が下記の点検項目に基づき、必ず始業点検（日常点検）を実施してください。
・長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。
・**点検時に異常が発見された場合**は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
・清掃等の簡単な保守は機器の管理者等によって実施するようお願いいたします。

● 始業点検項目

区分	点検内容	点検方法
（電源投入前） 外観	周囲の障害物の有無	目視
	カバー、扉およびシャワードームのはずれ、ガタつき、取付ネジの緩み、脱落	目視または、触って確認
	浴槽内の汚れ、または不要物	目視
	貯湯タンクからの湯の漏れ	目視
（電源投入後） 機能	温度表示・時間表示の点灯	目視
	ボディシャンプーの量	ボディシャンプー補充ランプが消えていることを確認
	給湯ミキシングの温度調節	自動給湯を ON にし、高温側と低温側に回し温度表示が変化することを確認
	高温時または低温時の給湯停止	高温側(46℃以上)と低温側(35℃以下)に回したとき給湯温度表示の数字が点滅し、給湯が停止することを確認(**確認後、40℃前後の適温に戻すこと**)
	ハンドシャワーミキシングバルブの温度調節	温度調節ノブを回し高温低温の調節が可能か手で確認 **(確認後、40℃前後の適温に戻すこと)**
	ハンドシャワー高温警告ランプの確認	温度調節ノブを高温側に回し、警告ランプが点滅することを確認 **(確認後、40℃前後の適温に戻すこと)**
	扉の開閉および底面シールの作動確認	底面シールが閉じ、扉シールが閉まることを確認 扉シールが開き、底面シールが開くことを確認

● 定期保守点検契約のお勧め

・製品を長期間正常な状態で安全にご使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めいたします。詳しくは別添の「保守点検契約のお勧め」をご覧になるか、最寄りの弊社営業所へお問い合わせください。

保証とアフターサービス

●保証書と保証期間

・保証書（別添）はよく読んで大切に保管してください。保証書がないと保証期間中でも代金を請求させていただく場合があります。

・保証期間は、正常な使用状態で故障した場合、本体フレーム及び FRP 部品は 5 年間、それ以外は 1 年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

●修理を依頼される場合

・修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

機種名　　：　*SWP-100R/L*

お買い上げ：　　年　　月

故障状況(できるだけ詳細に)

住所，氏名，電話番号

・メーカーより指示のあるとき以外は、決してカバーを開けたり、機器を分解したりしないでください。

●消耗品と損耗品

消耗品（使用により、量などが減少していくもの）

・シリコングリス（シール用） / ボディシャンプー

補給は、お客様により実施をお願いいたします。

損耗品（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

・正常な使用において、交換の目安が**約 2 年**のもの。

シャワーヘッド / 作動油 / ネックマット /ネックシート

・正常な使用において、交換の目安が**約 3 年**のもの。

ミキシングバルブ / シャワーホース / 給湯給水ホース / 排水ホース

油圧ホース / 温度センサー / 止水栓パッキン

点検の時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

●耐用期間

10 年：保守点検などの当社推奨環境で使用された場合

●保守部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後 10 年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

仕 様

型　　式		SWP-100
外形寸法		1960(Ｌ)×980(W)×1100(Ｈ)㎜
浴槽内寸法		1025～1125(Ｌ)×640(W)×455(Ｄ)㎜
半身浴実使用湯量		約 210 ℓ
質　　量		約 360 kg
シャワーノズル数		シャワードーム６か所、浴槽４か所
シャワーノズル吐出湯量		約 9.5ℓ/min(50Hz)、約 11.5ℓ/min(60Hz)
貯湯タンク容量		約 234ℓ
電　　源		単相 100Ｖ 50/60 Hz 20Ａ
電　　力		780/1150W
材質	フレーム・貯湯タンク	ステンレス
	シャワードーム	プラスチック
	浴槽・カバー	ＦＲＰ製
シール部・排水部駆動方式		電動油圧式：AC100V　200W
機能	自動給湯システム	適正湯量自動停止、高温時自動停止
	バブラー	送風機：AC100V　135W
	シャンプー吐出装置	シャンプータンク容量 4ℓ
安全機構		高温時給湯停止機構、漏電ブレーカー
そ の 他		入浴時間表示器、温度表示器 洗髪ボウル
付 属 品		•取扱注意銘板 •ネックマット •ネックシート •ボディシャンプー •シリコングリス •ハケ •希釈ボトル

注．都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。